

合格体験記

氏 名:

担任講師: 高田, 風間

先生

在籍校舎: 巣鴨

校

進学先

早稲田大学文化構想学部

その他
合格校

東京理科大学 工学部建築学科

*入試に役立った先生のアドバイス・勉強方法や、合格につながった体験・エピソード等を書いてください。

私が稲門学舎に通い始めたのは中学三年生の夏の頃で、当時中高一貫校に通っていた私は、完全に典型的な中だるみの状態でした。そこで、特に苦手としていた数学を基礎からやり直すことになり、先生方にはとても根気強く指導していただきました。そして高校二年生の冬に、「英語はどこに進むのにも必要不可欠だから」とのアドバイスを受け、英語の授業も稲門学舎で受けるようになりまし。また同時に、今まで家で主に行っていた自習も稲門学舎で行うようにし、結果的に受験直前の二月まで、ほぼ毎日稲門学舎で自習を行い、良い学習習慣を身につけることが出来たと思、ています。加えて稲門学舎で自習を行う中で、出て来た疑問点をその場で先生に尋ねたり、稲門学舎の蔵書の参考書を用いることですぐに解決することが出来、思い返せば受験をするのにとっても理想的な環境だったと思います。

そして私が思う、一番の稲門学舎の強みは、「先生と生徒の距離が近い」という点であります。私は元々社会科目が苦手であ。ため、理系選択を高校一年生の時にしていたのですが、特に進みたい学問領域は定まらず、よって志望校も決まらな状態。で高校三年生になりました。漠然とした、「勉強しなくてはならない」という自意識と、自身の勉強に欠けるモチベーションとのギャップに大きく苦しめられていた僕は、数学を担当していた。高田先生、そして室長の千石先生に助言を求めたところ、「とりあえず東大を目指せばいい」とのアドバイスをいただきました。それは「東大の勉強をしておけばこの

大学を目指しても通用する「から」という点に
 こだわったが、結果として他の大学の理系学部
 を目指す受験生よりも深く英語と国語を学ん
 だことで、私は自身の興味が文系学部の方面
 へ向いていくことに気付くことが出来ました。
 そこで私は知的好奇心を持つ、勉強に取り組
 むことが出来、勉強して行く中で出て来た、
 受験には関係の無い疑問にも、担当していた
 だった高田先生、風間先生、そして室長の千
 石先生に答えていただき、また風間先生には
 勉強の枠を超えて私の興味、関心を広げるよ
 うな、様々な話をしていただきました。
 いっしょに気づけば、私は稲門学舎に通うこ
 と自体に楽しめを覚えていました。それは今
 から思えば、僕の勉強のモチベーションにな
 っていたのだと感じます。結果としては東大
 には不合格でしたが、早稲田の文系学部に理
 系の立場で合格出来ました。これは私が稲門
 学舎に通っていたからこそ、出来たのだと思
 っています。
 最後に、学習環境を整えて下さった教務の
 方々、そしてお世話になりました講師の方々
 に、この場をお借りしてお礼申し上げます。
 今までありがとうございました。